

# 論 樹

## 第三一号

---

### 目 次

- 川上眉山「書記官」の温泉場……………安藤 史帆 (1)  
——余暇空間に交錯する力学
- 樋口一葉『わかれ道』について……………堀内 みき (33)  
——『にぎりえ』における蓮實の知見から
- 校正者の使命……………大杉 重男 (47)  
——安里미겔「憲法十二条」論
- 那須正幹・「物語」と「作家性」についての覚え書……………井上 乃武 (67)

---

2022年3月  
論樹の会

《編集後記》

\*校正をテーマにした論文だが、たぶん誤植の嵐なのはご容赦いただきたい。  
(大杉)

\*現状で何か協力できればと思つて参加したのですが、無謀な試みだったようで、ご迷惑をおかけしました。申し訳ありません。次の機会があればもう少し何とかします。編集の安藤さん、堀内さん、大変お世話になりました。どうもありがとうございます。(井上)

\*始めて自分の書いたものを、人に読んでいただくようにまとめる機会をいただきました。修士論文をもとに、さまざまなかからご助言いただき、なんとか形になりました。書くことに少しでも成長できれば良いなと思いつつ、マイペースに楽しみながらと思っています。(堀内)

\*二年ぶりの発行で、手間取ることも多くありましたが、大杉先生、井上先生、堀内さんとともに、三十一号にも論文を寄せることができて良かったです。また、今回の原稿は、二〇一九年十一月に開催された国際研究集会での発表をもとにしています。発表に際して、ご助言くださった皆様には心より感謝申し上げます。(安藤)

論樹 第三一号

二〇二二年三月三十一日発行

編集発行 論樹の会

〒一九二・〇九〇二

東京都八王子市南大沢一・一

東京都立大学大学院人文科学研究科 日本文学教室

論樹の会

〇四二(六七七) 一一一一 (内線一三四〇)

印刷 株式会社ちよこつと